

2011年度

科目名	基礎ゼミナールⅡA			
担当教員	岡島 克樹			
配当	人社2		コード	32129
開期	前期	講時	水曜日2限	単位数 1
授業テーマ	(1)大学のゼミでの勉強の仕方を再確認する (2)地域社会や国際社会の諸課題について学ぶ			
目的と概要	大学の授業は、教員が上から一方的に何かを教え、学生はメモを取り、教えられた内容を覚えるという「知識の蓄積」だけから成り立っているわけではない。「知る」ことだけではなく、自ら積極的に発表や議論などに挑むことによって「考える」ことが重要視されるゼミナールという形式もあるのである。このゼミでは、したがって、「ゼミ」という形式で学ぶことに必要な要約の仕方やレジュメの作り方、議論の仕方を学ぶ。また、その際、教員が地域社会や国際社会で話題になっている事象を指定するので、それについて調べるなかで、地域社会・国際社会についての関心と知識を深めることをねらいとする。			
成績評価法	ゼミへの貢献(発言等)50%、課題(個人課題のレジュメ作成・発表等)50%			
テキスト	大江正章(2008)『地域の力―食・農・まちづくり』岩波新書			
参考書	適宜、紹介する。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	事前にテキストに目をとおしてゼミにのぞむことを期待する。			
講義計画				
前期は、新しい仲間慣れるとともに、地域・国際社会の諸問題について関心や知識を持てるよう文献を指定しつつ、文献を要約する方法、レジュメの書き方、パワーポイント作成方法を含む発表の仕方などを学んでいく。				
1回目：教員自己紹介、アイスブレイキング、本講のラーニングアウトカムの確認				
2回目：レジュメ作成・発表パワーポイント作成に関する注意事項確認（パワーポイント作成上の注意を含む）				
3回目：発表（1回目）				
4回目：発表（2回目）				
5回目：発表（3回目）				
6回目：発表（4回目）とくにこの回は富田林の総合計画やその他、地域の課題について記した文献を読み、後期のゼミに備えることとしたい。				
7回目：まとめ				